

観光写真コンテスト最優秀賞決まる!



「白鳥と御神渡り」

伊藤幸雄さん（茅野市）

岡谷市観光協会設立30周年を記念した「岡谷市観光写真コンテスト」が行なわれ、市内外の53人265点の応募の中から最優秀賞ほか50点の入賞作品が決定しました。

岡谷には素晴らしい撮影スポット・行事があります。みなさんもカメラ片手に出かけてみてはいかがでしょうか。

岡谷市観光写真コンテスト展

4月9日（水）までイルフプラザ・カルチャーセンターで入賞作品を展示しています。

主な内容

平成20年度予算	2
市政懇談会報告	7
行政評価公表	10
みんなのページ	18
社協だより	20
インフォメーション(おしらせ)	24
くらしのカレンダー	36
春の行事一覧	42

会計名	予算額	前年度比較	増減率
一般会計	186億5,500万円	1億3,700万円	0.7%
特別会計			
国民健康保険事業	53億5,800万円	8,800万円	1.7%
地域開発事業	7億4,800万円	1億7,300万円	30.1%
分収造林事業	2,970万円	1,050万円	54.7%
霊園事業	1,430万円	30万円	2.1%
老人保健事業	5億7,850万円	△50億8,350万円	△89.8%
温泉事業	1,750万円	△350万円	△16.7%
訪問看護事業	3,590万円	△450万円	△11.1%
後期高齢者医療事業	6億円	6億円	皆増
計	73億8,190万円	△42億1,970万円	△36.4%
湊財産区一般会計	260万円	△30万円	△10.3%
企業会計			
水道事業	13億6,979.7万円	6,455.9万円	4.9%
下水道事業	28億7,870.5万円	6,270.0万円	2.2%
病院事業	93億7,248.9万円	△5億6,253.7万円	△5.7%
計	136億2,099.1万円	△4億3,527.8万円	△3.1%
合計	396億6,049.1万円	△45億1,827.8万円	△10.2%

※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額。前年度比較の△印は、減額を意味します。

産業の活力を基盤とした、人、輝きたくまじつまちをめざわって

平成20年度予算

一般会計

186億5,500万円
前年度比0.7%の増

総額

396億6,049万1千円

平成20年度は、第3次岡谷市総合計画の最終年として総仕上げの年となるとともに、産業の活力を基盤とした、たくましいまちの実現をめざし、第4次岡谷市総合計画の策定を視野に、新たな施策を構築していく重要な年です。限られた財源の中にあっても、必要な施策、事業を選択、集中していくことで、強い財政基盤の確立と、産業を中心とした活力のあるまちづくりを推進するため、第3次岡谷市総合計画の6つの都市づくりの柱を基調として予算の編成を行いました。

当初予算額は、一般会計が186億5500万円で、前年度に比べ1億3700万円、0.7%の増、また、一般会計に特別会計（湊財産区を含む）および上下水道と病院の企業会計を合わせた総額では、396億6049万1千円、前年度比10.2%の減となりました。

また、産業の活力を基盤とした「人、輝き たくましいまち岡谷」の実現に向けた重点施策として、

- ・ たくましい産業の活力を生み出すまちづくり
- ・ 安心の子育て支援のまちづくり
- ・ 誰もがいきいきと生活できる健康のまちづくり
- ・ 災害に強い安心、安全のまちづくり

の4項目を掲げ、特に「製造業を軸とした産業振興」を最重要課題と位置づけ、産業の振興により、人口の減少に歯止めをかけ、にぎわいと活力あるまちづくりをめざすなど、新しい施策も積極的に盛り込んだ予算となっています。

市民みなさんにも、我慢や負担をお願いする部分もありますが、将来にわたり安定した行財政基盤を確立し、新たな可能性を育み、将来に夢を描くことができるまちとして次の世代へ継承していくため、特段のご理解とご協力をお願いします。

これからも、市民みなさんのご意見やご要望が施策に反映される、市民起点の市政運営を基本に、市民のみならずとも歩む、市民総参加のまちづくりを推進します。

4. 災害に強い安心・安全のまちづくり

～防災・緊急体制を強化する施策の推進～

★は新規の事業を表します。
(単位:千円)

【災害復旧・復興に向けて】

◇道路災害復旧事業	6,200
◇砂防・治山対策事業	7,200
★天白橋架替事業	8,800
天竜川の護岸を改修する災害復旧事業に関連し、天白橋の架け替えを進めます。	
◇大洞沢川災害復旧事業	3,000

【防災体制の整備】

◇川岸小学校管理教室棟等耐震改修事業	55,400
★上ノ原市営住宅耐震診断事業	1,000
◇市営住宅火災報知器設置事業	5,200
◇教員住宅火災報知器設置事業	640
★岡谷市防災ガイド修正事業	4,300
水害、土砂災害の危険区域や地震防災マップなどを織り込んだ、防災ガイドの修正に取り組みます。	
★岡谷市地域防災計画修正事業	300
豪雨災害の経験を活かし、地域防災計画の修正を行います。	
◇災害記録誌作成事業	200
◇自主防災組織育成事業	1,764
★岡谷市危機管理指針策定事業	ゼロ予算
様々な危機事象や緊急事態への対処の基本を定める、危機管理指針の策定に着手します。	

【消防・緊急体制の整備】

★消防署車両整備事業 (はしご車オーバーホール)	27,500
◇消防水利整備事業	3,100
★消防団車両整備事業 (資機材搬送車整備)	5,100
豪雨災害の教訓から、災害現場への迅速な資機材搬送など、分団の機動力、輸送力を強化するため、小型消防車両を配備します。	
◇消防団施設整備事業	2,350
◇救急高度化推進事業	953
◇林野火災防ぎょ用背負い式水のう配備事業	600
◇大規模地震災害対策用活動資機材整備事業	441



消防団資機材搬送車

《その他の主な事業》

【都市基盤、生活基盤の整備】

◇湖北火葬場建替え整備事業	53,026
◇湖周地区ごみ処理施設整備事業	872
◇都市公園整備事業	53,720
◇地域幹線道路整備促進事業	40,197
◇都市計画街路事業 東町線整備事業	136,304
◇都市計画街路事業 東堀線整備事業	70,408
◇岡谷駅前再整備コーディネート事業	3,100
★岡谷駅前広場自家用車駐車場機械化管理事業	2,620
★建築基準法42条指定道路調書作成事業	8,549
◇住まい・街並み形成マニュアル、 景観形成基本計画策定事業	1,298
★上下水道情報管理システム導入事業	27,162

【生活・環境の取り組み】

★みんなで岡谷の環境保全大作戦事業	376
市民の環境意識を一層高めるため、緑のカーテン推進事業、おかや一斉気温測定事業、環境カルタ事業を実施します。	
◇一般家庭生ごみリサイクルモデル事業 (拠点回収地区の拡大)	6,824
拠点回収地区を5地区拡大します。	
★家庭ごみ等有料化事業	1,524

【観光・文化の取り組み】

★あじさい祭り負担金	100
★小口太郎顕彰碑建立20周年記念事業	200
◇第4回緑と湖のまち音楽祭事業	4,500
★近代化産業遺産活用事業	777

【市民と歩むまちづくり】

◇住民参加型市場公募債の継続発行事業	1,153
★岡谷市まちづくり通信員事業	68
◇明日のおかやをともに創る提案事業	18
★シニアサロン開設事業 (団塊の世代対策)	20
団塊の世代の方々の方々のまちづくりや地域活動への参加のきっかけとして、自由に語り情報交換のできる場所を提供します。	
★男女共同参画推進 (意識調査) 事業	188
★男女共同参画「子どもの意識づくり事業」	320
子どもたちの男女平等意識や人権意識を高めるため、マンガの冊子を作成します。この事業は、市民の方が提案した事業です。	
◇第4次岡谷市総合計画策定事業	2,444
平成21年度からのまちづくりの基本となる新たな総合計画を策定します。	

2. 安心の子育て支援のまちづくり ~子どもをたくましく元気に育てる施策の推進~

★は新規の事業を表します。
(単位:千円)

【子育て支援】

- ★乳幼児医療費無料化を小学校3年生まで拡大 33,128
乳幼児家庭の経済的負担を軽減するため、医療費無料化を小学校3年生まで拡大します。
- ・妊婦一般健康診査事業 (拡充) 20,222
妊娠中のお母さんの健康を守るため、妊婦健診を5回に拡大しました。
- ◇こんには赤ちゃん事業 (拡充) 1,941
- ★子育て応援倶楽部事業 84
- ◇子育て支援保育料減額事業 (歳入の減少) 39,749
- ★子ども読書活動推進計画策定事業 6
- ★「子どもたちがたくましく育つことを願う木」植栽事業 150
湖畔公園に子どもたちの健やかな育成を願う、広葉樹を植栽します。
この事業は、市民の方が提案した事業です。



【快適な学校生活を送るために】

- ★小学校アスベスト飛散防止工事 61,000
より一層の安全確保のため、上の原小学校、小井川小学校の教室棟などでアスベストの飛散防止工事を行います。
- ◇川岸小学校管理教室棟等耐震改修事業 55,400
- ★就学支援相談員の設置事業 2,297
様々な就学に関する相談活動の統括、調整を行う就学支援相談員を配置します。
- ◇児童介助員配置事業 (拡充) 4,728
- ★小中学校給食食器更新事業 4,086
- ★長地小学校特別支援学級新設事業 1,609
- ◇小学校自動体外式除細動器 (AED) 導入事業 1,332
- ★学力実態調査事業 ゼロ予算
- ★スクールカウンセラー派遣事業 624
いじめや不登校などの問題解決と予防のため、県の事業で対応がしきれない学校にも独自にカウンセラーを派遣します。

【たくましく育てる保育の充実】

- ★神明保育園大規模修繕事業 147,118
老朽化した神明保育園の耐震改修を兼ねた大規模改修を行います。
- ★みなと保育園駐車場整備事業 1,300
- ★保育園給食食器更新事業 1,778
- ◇保育補助員設置事業 (拡充) 3,527
- ★保育園運営計画策定事業 77

3. 誰もがいきいきと生活できる健康のまちづくり ~保健・医療・福祉の連携を強化した施策の推進~

【福祉施策の推進】

- ★第2次岡谷市地域福祉計画策定事業 5,283
平成21年度からの地域福祉計画を策定します。
高齢者保健福祉計画と障害者福祉計画を包含した総合的な計画とします。
- ◇地域サポートセンター設置促進事業 1,800
- ★障害児を育てる地域の支援体制整備事業 1,156
- ★視覚障害者等情報支援緊急基盤整備事業 765
- ★オストメイト対応トイレ整備事業 630

【介護福祉の充実】

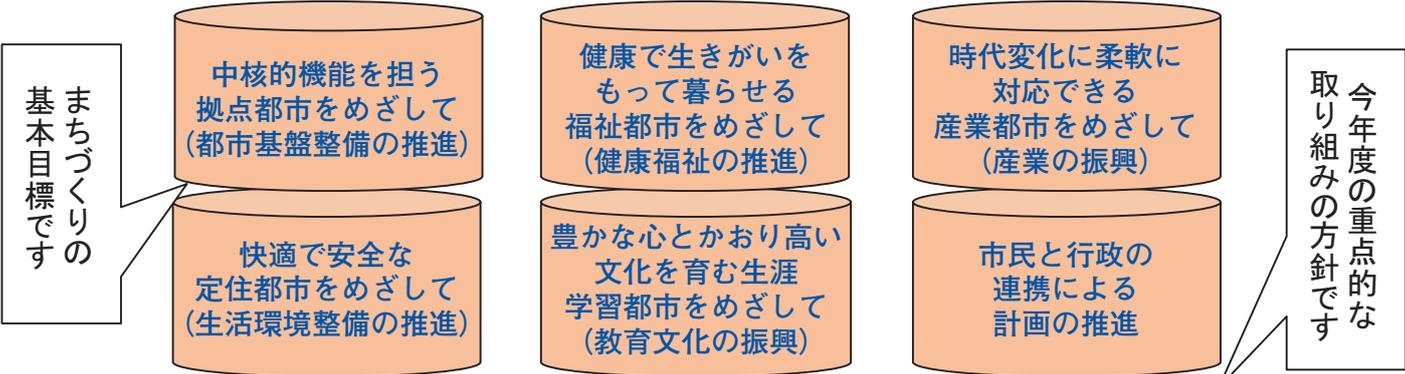
- ★地域介護・福祉空間整備事業等補助金 10,000
旧ヘルシーパルを利用した、認知症対応型デイサービス計画に国の制度で助成します。
- ★特定高齢者把握事業 (介護予防事業) 20,000
- ★訪問型介護予防事業 (介護予防事業) 2,404

【医療と健康づくりの推進】

- ★後期高齢者健診等事業 7,756
75歳以上の方々に対する新たな医療制度への対応を図ります。
- ★特定健診・特定保健指導実施事業 (国保特会) 73,053
40歳から74歳までの方々に対する新たな健診制度への対応を図ります。
- ◇岡谷市・山梨大学包括協定
「市民健康づくり事業」 (国保特会) 4,123
生活習慣病の予防、改善に向けたシステムの構築など山梨大学との連携による事業です。
- ★公立病院改革プラン策定事業 (病院事業) 10,000
国から示された、公立病院改革ガイドラインに基づき、公立病院改革プランを策定します。



予算編成の6つの基調 (第3次岡谷市総合計画の6つの柱)



平成20年度予算重点施策

1. たくましい産業の活力を生み出すまちづくり
2. 安心の子育て支援のまちづくり
3. 誰もがいきいきと生活できる健康のまちづくり
4. 災害に強い安心、安全のまちづくり

1. たくましい産業の活力を生み出すまちづくり ~製造業を軸とした産業振興施策の推進~

★は新規の事業、数字の()内数を表します。(単位:千円)

【産業振興のために】

- ★産業振興担当副市長の配置
製造業を軸とした産業基盤の確立をめざして、企業誘致や既存企業の育成、支援に専門的に取り組む、産業振興担当副市長を配置します。
- ★産業振興戦略室の新設 46,834
- ★関東経済産業局への職員派遣 (3,157)
- ★岡谷市工業活性化計画策定事業 (2,437)

【勤めたい、働きたい方々に】

- ★シニアビジネス支援事業 1,350
団塊の世代などシニア世代の方々の技能や知的財産を企業につなげ、事業を始めたい方々への相談の機会を提供します。
- ★高校生就職準備セミナー事業 40
- ★労働と子育てを両立する母親就労支援事業 380
労働と子育てを両立しようとする女性の就労や生活向上に向け、交流、情報提供を行います。
この事業は、市民の方が提案した事業です。

【工業の活性化】

- ◇岡谷市商工業振興条例補助金(拡充) 267,480
小規模企業への助成率の拡大や、研究開発型企業、機関の誘致や育成のため、制度の見直しを行いました。
- ★信州大学大学院高度ものづくり専門職コース
修士課程実施事業 700
- ★「工業のまち岡谷アーカイブ」構築検討事業 ゼロ予算
ものづくりのまち岡谷の背景、発展の道のりなどの集積、産業技術の伝承など検討を行います。
- ★航空機部品加工のまちづくり事業 156
製造業の新たな販路開拓に向け、次世代の成長産業といわれる航空機部品加工のまちづくりを推進します。
- ★工業用地アクセス道路除雪等支援事業 2,232
- ★工業操業環境整備事業費補助金 5,600
- ◇岡谷市・山梨大学包括協定
「ナノ加工融合プロジェクト」 5,600
- ◇中小企業金融対策事業(制度資金) 1,331,780
全てのメニューで100%の貸付ができるように、貸付限度額のパーセント枠を撤廃しました。
新しく「おかや環境未来資金」と「小口零細企業保証資金」を創設しました。

【商業・農林業の活性化】

- ★岡谷TMO「経営アドバイス」事業 1,702
岡谷TMOを中心に講座などを開催し、商店街の若手リーダーの育成に向けて取り組みます。
- ★森林体験学習会事業 ゼロ予算
個人の森林の手入れを促進するため、機械や道具の扱い方を学ぶ機会を提供します。
- ★森のエネルギー利用促進事業 150
- ★民有林作業道開設支援事業 344
- ★個人型市民農園開設事業 ゼロ予算



湯殿山工業団地

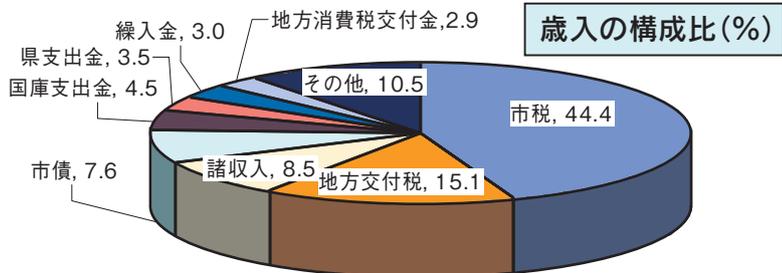
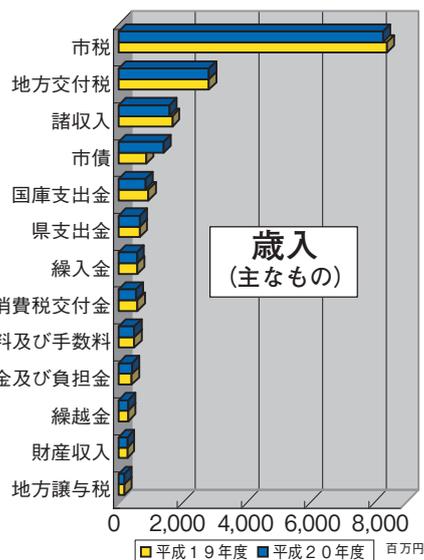
平成20年度予算のあらまし

歳入（市の収入）

【主な内容】

- 市税は歳入の主要な一般財源で4割以上を占めています。
(一般財源とは、使い方が制限されない収入です)
- 地方交付税は、全国等しく行政サービスが受けられるよう、国税の中から市町村の財政状況などにより交付され、市税の次に多い収入です。
- 諸収入は、ほかの収入科目に含まれない収入をまとめたものです。
- 市債は建設事業など多額の経費が必要なときに、一定のルールによるものと、地方交付税の振り替えとして借り入れるものがあります。
今年度では、以前に借り入れた市債をルールにより借り換えるため、一時的に増えています。
- 国庫支出金、県支出金は、特定の事業などに対する国や県からの補助金や交付金です。
- 繰入金は、主に特定の目的に使うことができる基金からの繰り入れです。
- 地方消費税交付金は、地方消費税の2分の1が県から交付されます。
- そのほか、使用料及び手数料や分担金及び負担金、繰越金、財産収入などがあります。

区 分	予算額	構成比		前年度比
		%	%	
市 税	82億7,600.0万円	44.4		△ 1.5
地方交付税	28億2,000.0万円	15.1		0.0
諸 収 入	15億8,468.5万円	8.5		△ 5.9
市 債	14億1,308.0万円	7.6		64.5
国庫支出金	8億3,628.3万円	4.5		△ 10.7
県 支 出 金	6億5,219.3万円	3.5		△ 1.8
繰 入 金	5億6,850.0万円	3.0		△ 2.2
地方消費税交付金	5億4,300.0万円	2.9		△ 8.0
そ の 他	19億6,125.9万円	10.5		△ 0.9
合 計	186億5,500.0万円	100.0		0.7

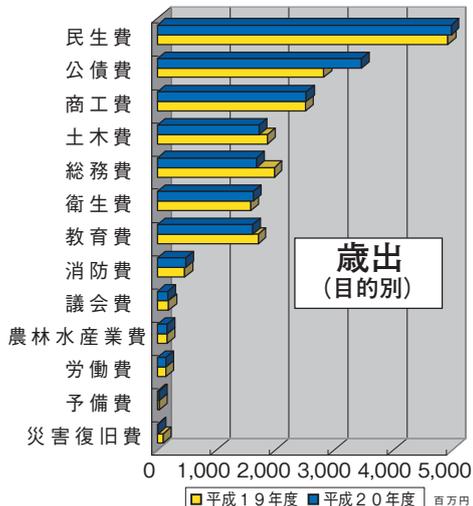


区 分	予算額	構成比		前年度比
		%	%	
民 生 費	49億8,443.0万円	26.7		1.1
公 債 費	34億6,401.2万円	18.6		22.6
商 工 費	25億2,699.2万円	13.5		0.5
土 木 費	17億2,695.2万円	9.3		△ 7.8
総 務 費	16億8,354.7万円	9.0		△ 15.0
衛 生 費	16億2,784.3万円	8.7		2.6
教 育 費	16億1,436.1万円	8.6		△ 5.5
消 防 費	4億8,781.4万円	2.6		5.0
議 会 費	1億7,997.8万円	1.0		△ 5.6
農 林 水 産 業 費	1億7,055.2万円	0.9		△ 0.3
労 働 費	1億4,211.9万円	0.8		△ 1.9
予 備 費	3,000.0万円	0.2		0.0
災 害 復 旧 費	1,640.0万円	0.1		△ 84.1
合 計	186億5,500.0万円	100.0		0.7

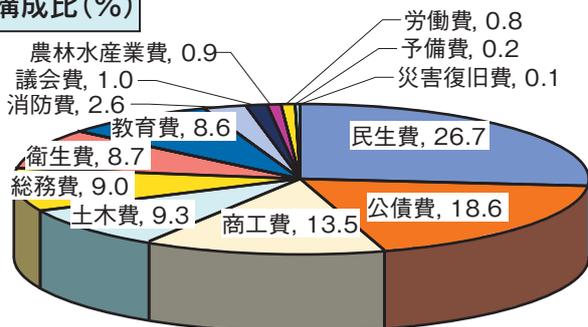
歳出（市の経費）

【歳出の目的別の内容】

- 民生費は、子どもや障害者、高齢者などの福祉に関連する経費などです。
市の経費の中では、一番大きな割合となっています。
- 公債費では、市が借り入れた市債の返済を行っています。
- 商工費は、商工業の振興や地域の活性化、観光対策などの経費です。
- 土木費は、道路や河川の維持、整備、市営住宅関係の経費などです。
- 総務費は、庁舎の管理や職員の給与など内部的な経費のほか、徴税、選挙、防災、災害関連経費なども含まれています。
- 衛生費は、健診などの保健衛生や環境保全、ごみ処理、病院事業への繰出金などです。
- 教育費は、学校教育、生涯学習の推進や文化・スポーツの振興などの経費です。
- 消防費は、消防、救急、消防団に関する経費です。
- 農林水産業費は、農業、林業などの振興に関する経費です。
- 労働費は、雇用や勤労者対策などの経費です。
- 災害復旧費は、平成18年7月豪雨災害の復旧経費です。



歳出の構成比 (%)



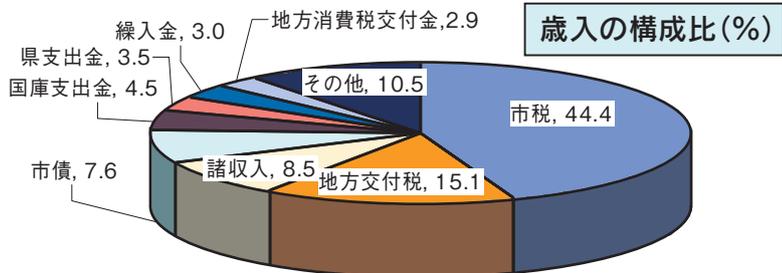
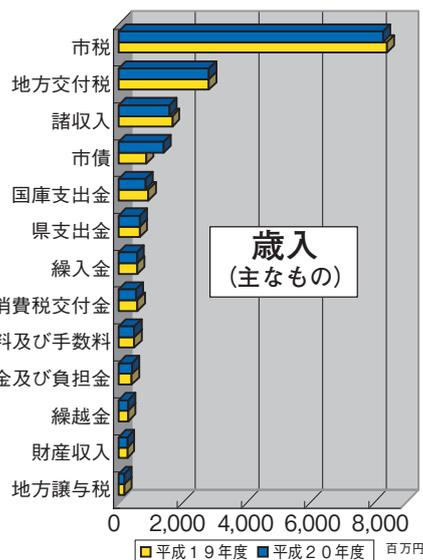
平成20年度予算のあらまし

歳入（市の収入）

【主な内容】

- 市税は歳入の主要な一般財源で4割以上を占めています。
(一般財源とは、使い方が制限されない収入です)
- 地方交付税は、全国等しく行政サービスが受けられるよう、国税の中から市町村の財政状況などにより交付され、市税の次に多い収入です。
- 諸収入は、ほかの収入科目に含まれない収入をまとめたものです。
- 市債は建設事業など多額の経費が必要ときに、一定のルールによるものと、地方交付税の振り替えとして借り入れるものがあります。
今年度では、以前に借り入れた市債をルールにより借り換えるため、一時的に増えています。
- 国庫支出金、県支出金は、特定の事業などに対する国や県からの補助金や交付金です。
- 繰入金は、主に特定の目的に使うことができる基金からの繰り入れです。
- 地方消費税交付金は、地方消費税の2分の1が県から交付されます。
- そのほか、使用料及び手数料や分担金及び負担金、繰越金、財産収入などがあります。

区 分	予算額	構成比		前年度比
		%	%	
市 税	82億7,600.0万円	44.4		△ 1.5
地方交付税	28億2,000.0万円	15.1		0.0
諸 収 入	15億8,468.5万円	8.5		△ 5.9
市 債	14億1,308.0万円	7.6		64.5
国庫支出金	8億3,628.3万円	4.5		△ 10.7
県 支 出 金	6億5,219.3万円	3.5		△ 1.8
繰 入 金	5億6,850.0万円	3.0		△ 2.2
地方消費税交付金	5億4,300.0万円	2.9		△ 8.0
そ の 他	19億6,125.9万円	10.5		△ 0.9
合 計	186億5,500.0万円	100.0		0.7

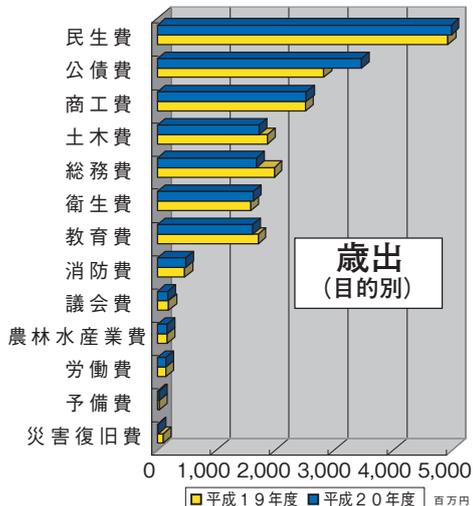


区 分	予算額	構成比		前年度比
		%	%	
民 生 費	49億8,443.0万円	26.7		1.1
公 債 費	34億6,401.2万円	18.6		22.6
商 工 費	25億2,699.2万円	13.5		0.5
土 木 費	17億2,695.2万円	9.3		△ 7.8
総 務 費	16億8,354.7万円	9.0		△ 15.0
衛 生 費	16億2,784.3万円	8.7		2.6
教 育 費	16億1,436.1万円	8.6		△ 5.5
消 防 費	4億8,781.4万円	2.6		5.0
議 会 費	1億7,997.8万円	1.0		△ 5.6
農 林 水 産 業 費	1億7,055.2万円	0.9		△ 0.3
労 働 費	1億4,211.9万円	0.8		△ 1.9
予 備 費	3,000.0万円	0.2		0.0
災 害 復 旧 費	1,640.0万円	0.1		△ 84.1
合 計	186億5,500.0万円	100.0		0.7

歳出（市の経費）

【歳出の目的別の内容】

- 民生費は、子どもや障害者、高齢者などの福祉に関連する経費などです。
市の経費の中では、一番大きな割合となっています。
- 公債費では、市が借り入れた市債の返済を行っています。
- 商工費は、商工業の振興や地域の活性化、観光対策などの経費です。
- 土木費は、道路や河川の維持、整備、市営住宅関係の経費などです。
- 総務費は、庁舎の管理や職員の給与など内部的な経費のほか、徴税、選挙、防災、災害関連経費なども含まれています。
- 衛生費は、健診などの保健衛生や環境保全、ごみ処理、病院事業への繰出金などです。
- 教育費は、学校教育、生涯学習の推進や文化・スポーツの振興などの経費です。
- 消防費は、消防、救急、消防団に関する経費です。
- 農林水産業費は、農業、林業などの振興に関する経費です。
- 労働費は、雇用や勤労者対策などの経費です。
- 災害復旧費は、平成18年7月豪雨災害の復旧経費です。



歳出の構成比 (%)

